

平成 28 年度支部長会議開催される

～各支部より近況報告 グループワークも実施 積極的な意見交換と討議～

平成 28 年 12 月 3 日、福島県理学療法士会事務局において、平成 28 年度支部長会議が開催されました。同会議は当県士会理事会ならびに各支部間の情報交換・共有を主な目的として開催されています。各支部から代表者等が多数出席し、活発な意見交換が行われました。

冒頭に当県士会理事会・県士会および日本理学療法士協会におけるトピックス紹介や事業報告が行われました。主な内容としては、第 34 回東北理学療法士学術大会の報告や、第 36 回東北理学療法士学術大会が福島県で開催される件、当県士会 50 周年記念事業準備の進捗状況の説明等が行われました。次いで、各支部からの報告が行われました。各支部の特色が色濃く示され、それぞれの支部の現状や今後の課題等について、各代表者が熱心に耳を傾けていました。

また、同会議では、グループディスカッションが行われ、①「運営人材について」 a)発掘：支部内での、運営人材をどのように見つけているか。見つける為には…。 b)任命：運営人材をどのように巻き込むか。巻き込む為には…。 c)定着：運営人材の意欲をどのように高めるか（維持するか）。高める為には…。 d)育成：運営人材をどのように育てるか。育てる為には…。②「参加者について」 a)支部活動、研修会等の参加者を増やすには…。などをテーマにディスカッションが行われました。グループワークでは、「私ができる支部運営人材戦略」、「私ができる支部活動、研修会への参加者アップへの工夫」などがテーマに展開されました。

会議終了後に行われたアンケートでは、「他支部の状態を理解でき有意義であった」、「年に 2 回程度開いても良いかも」、「この会議が県士会の方針をしっかりとサポートし良いものになっていくことにしていきたい」、「グループワーク良かったです。参加者らの多くが満足度の高い結果となりました」など、満足度の高い回答が多く、参加者にとって有意義な時間となったようです。支部長会議は今後も当県士会の企画として継続されます。より有意義な会議となるよう運営を強化していきます。

支部担当理事・江井邦夫

会報誌編集委員長・折内英則

